

木の城の維持管理「しんせつ」に対応

元関連会社役員ら起業

旭川



北村浩二さん

【旭川】破産手続き中の住宅メーカー、木の城たいせつ（空知管内栗山町）のグループ会社の元役員らが近く、同グルー

プが手掛けた物件のメンテナンスとリフォームを行う会社「しんせつ」（旭川）を設立する。一日に旭川法務局に設立登記を申請済み。今月末にも事業を始める見通し。

施工を担当したグループ会社、匠一（同）の常務だった旭川市在住の北村浩二さん（46）が、同じく施工会社、北匠（札幌）の元役員（滝川市在住）と、木の城たいせつの元社員（同）に呼び掛け、資本金二百万円を出し合った。社長には北村さんが就任。本社は北村さんの自宅に置き、滝川に営業拠点を設ける。

新会社の社名は「親切」で、北海道らしい「新雪」をかけた。倒産前に三人が担当した上川、留萌、十勝管内と北空知の約二千五百棟を対象に定期訪問し、建具のメンテナンスや壁の張り替えなどを行う。初年度の売り上げ目標は五千万円。

北村さんは「木の城」の破たん後、建て主約四十人から維持管理の相談を受け、会社設立を決断した。「被害を受けた顧客に親切にアフターサービスを行い、軌道に乗れば元従業員も五人程度採用したい」という。